

大崎短歌会

兼題『ハチマキ・竜胆（りんどう）・自由』

はちまきを結び直してラインに立つ　菜の花路行くフルマラソンの　山下海征

ブルマーに赤いハチマキヨーイドン　家族総出の懐かし昭和　杵山重子

宝石を見つけたような嬉びよ　薄紫のりんどう野辺に　本後淑子

ひそやかに岩陰に咲く竜胆（りんどう）や　井元かず子

沸き立つ思い青空へ向かひ　晩秋にひっそり野辺に根差し咲く　実吉安仁

薄紫のりんどうの花　藪径の奥一株のリンドウに　川﨑健一

群生もせず静かに生きる　「大崎町の最高齢者」とて祝受く　穂園芳江

残る世清く生きて行きたし

「人生は紙飛行機」と唱ふ日々　仲間が欲しき声を合はせむ　上南紀子

落花生栗さつま芋ぐべ実り　ハチマキ駆ける号砲止まず　馬場みさ

薩摩郷句

兼題『発表（はっぴょ）』

発表ん日　鯛（てえ）どん準備（しこ）たて　さで落（おて）っ　遠矢酎多

（唱）間違（まっ）げじゃ無（ね）かち　周囲（はた）が気を使（つ）こっ

ノーベル賞（しょ）　授与ん発表い　沸（わ）っ日本（にほん）　西ノ園ひらり

（唱）二年も続（つづ）じっ　さすがじゃ日本（にほん）

大雨大地震（うあめなえ）　発表い忙（せわ）し　気象庁

（唱）温暖化じゃろ　地球も狂っ　上窪小絵

狂句（くる）ん発表　掠（かす）いもせんち　捻（ひね）くれっ　佐藤ぼっけちゃん

（唱）良（よ）か狂句（くる）じゃい事ち　目の無（ね）か選者

合唱曲（がっしょうきょく）　ハモっ聴かせた　発表会（はっぴょうかい）　諸木小春

（唱）会場中が　感動（かんどう）で沸（うえ）っ

参観日　発表（はっぴょ）をすれば　私（あたい）が子　二見愚楽満

（唱）立派な発表　鼻高（はなだか）け息子（むすこ）

発表前　炊（て）っくれちゃった　御赤飯（おかまんま）　中尾亜痛世

（唱）我が子を信じっ　やっぱい親じゃ

息子（こ）は平然（しれっ）　定員割れん　発表朝（はっぴょあさ）　北村虎王

（唱）どうせ合格（とお）っち　勉強（べんきょ）どませじ

異常（いじょな）無しち　発表されたや　ホッちしっ　満石うらら

（唱）悪（わる）い病気（びょね）じゃ無かち　気が気じゃ無（の）して

一点差（いってんさ）　発表あっずや　ちわんちわ　藤元鬼瓦

（唱）あん一打がち　心配（せわ）でたまらじ

左手（ひだりて）を　上げたて　発表させらえっ　長重リリー

（唱）先生（せんせ）当てんち　約束（やっじょ）じゃったよ

発表ん日　見たよな顔（つら）と　また出会（で）っ　井上三ちゃん

（唱）お互い何校も　滑い止めじゃろ